

会 議 録

会議名称	平成 28 年度 加古川市男女共同参画社会づくり懇話会
開催日時	平成 29 年 2 月 3 日（金）開会：13 時 55 分 閉会：15 時 15 分
開催場所	加古川市男女共同参画センター セミナールーム
出席者	<p><委員> 石田委員、木下委員、小川委員、河口委員、岸本委員、久保田委員、 塩谷委員、杉山委員、福島委員 （欠席）吉田委員</p> <p><事務局> 男女共同参画センター／所長：前川、副所長：田村、主査：青木、高田 主事：竹内 家庭支援課／副課長：岡本</p>
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 報 告 4 議 題 (1) 第 4 次加古川市男女共同参画行動計画における関係各課の取組について (2) 平成 28 年度男女共同参画センター事業実施状況について (3) 平成 29 年度事業実施予定（案）について 5 その他 6 閉 会
配布資料	資料 1 加古川市男女共同参画社会づくり懇話会設置要綱・委員名簿 資料 2 第 4 次加古川市男女共同参画行動計画 取組の方向性 資料 3 平成 28 年度男女共同参画センター事業実施状況 資料 4 平成 29 年度男女共同参画センター事業実施予定（案）

審議内容（発言者・発言内容・審議経過等）	
1 開 会 事務局	男女共同参画センターの移転について報告 [※委員から発言なし]
2 あいさつ 事務局	
3 報 告 事務局	

4 議 事	(1)第4次加古川市男女共同参画行動計画における関係各課の取組について
事務局	資料2『第4次加古川市男女共同参画行動計画 取組の方向性』により説明
事務局	(2)平成28年度男女共同参画センター事業実施状況について
事務局	資料3「平成28年度男女共同参画センター事業実施状況」により説明
事務局	(3)平成29年度事業実施予定(案)について
委員	<p>資料4「平成29年度男女共同参画センター事業実施予定(案)」により説明</p> <p>第4次加古川市男女共同参画行動計画について、施策を進めていく関係課が男女共同参画センターのほか数多くあるため、その中で男女共同参画センターがどのような役割を果たすべきかよく考えてほしい。男女共同参画センターだからこそ、意味のある深く学べる企画をぜひ行ってほしい。</p> <p>青少年女性センターへ移転すると、加古川駅から遠くなるため、大きな講演会などは足を運びやすい場所で行うなど工夫をしてほしい。</p>
委員	<p>現在の男女共同参画センターは加古川駅前にあり、商店街の中の利便性の高い会場で自分たちの講座を開くこともでき、有意義に活動してきた。このたびの急な移転にショックを受けている。</p>
委員	<p>平成29年1月に、初めて男女共同参画センター・加古川商工会議所・ひょうご仕事と生活センターの3者が共催で、企業向けのセミナーを開催した。私も講師として登壇し、加古川市内の事業者20名を超える方々が参加された。企業の競争力を高めるためには、特に女性活躍の推進と、両立支援制度の導入・運用は重要である。引き続き企業に対する啓発を続けていただきたい。</p>
委員	<p>平成28年度の出張講座について、参加者がほとんど集まらなかったのは、地域のニーズと講座内容や対象者のミスマッチがあったのか。他の講座の参加者数よりもかなり少ない。</p>
事務局	<p>出張講座の目的は、第一に当センターの周知にある。講座のチラシを地区の幼稚園の保護者に配るなどPRしたが、参加者が少なかったため、今後は内容の検討が必要である。座談会という少人数の形式や、一時保育を実施できなかったことも要因として考えられる。</p> <p>平成29年度も推進専門員を講師として、内容を変えながら、ターゲットを絞って実施したい。</p>
委員	<p>平成28年度の講座について、これから開催予定のコミュニケーション講座のなかで、DVについての啓発は行うのか。第4次加古川市男女共同参画行</p>

	<p>動計画の中でも暴力を許さないという目標を掲げているわけで、啓発は重要である。</p>
事務局	<p>コミュニケーション講座の内容は一般向けのアサーション講座であり、DVについてではない。</p>
委員	<p>DVについて、困っている人が相談できる環境があるのか。</p>
事務局	<p>第2期加古川市配偶者等からの暴力対策基本計画に基づき、市役所が全庁的にDV防止施策を行っている。中でも被害者の安全確保として、市役所内のDV防止ネットワークを強化するためあらためて要綱を作成し、これまでに引き続きネットワーク会議を開催することとしている。</p>
委員	<p>立派な第4次加古川市男女共同参画行動計画ができたと思う。</p> <p>男女共同参画センターの場所が加古川駅前から市役所の近くにすることは、デメリットもあるが、メリットとしては市役所の本庁に近く、連携がとりやすくなる。施策全体のマネジメント機能を果たすためには有利であり、地の利を活かしてほしい。</p> <p>第4次加古川市男女共同参画行動計画の中で、加古川市の審議会等の女性比率の目標値を50%から40%へ変更したということであるが、組織の3割が影響力を持つという考え方もあるため、現状の女性比率が30%あるということは十分だと思う。目標値を40%へ下げているが、これからも女性比率を上げるよう目指してほしい。</p> <p>重点施策のひとつ「働く場における男女共同参画」に注目している。1億総活躍社会の実現ということで、働き方改革が大きく取り上げられている中、女性が一度離職すると再就職が大変難しい現状がある。子どもが小さいと再就職がしにくいし、再就職した場合でもパート社員となることが多い。再就職支援だけでなく、出産等で離職をせず産休・育休などの制度を使って企業の中でポジションを維持したまま正社員でいられるよう啓発してほしい。</p>
事務局	<p>市役所の他の部署とも連携して、男女共同参画社会が実現するよう計画を推進していきたい。</p>
委員	<p>市役所が男女共同参画モデル事業所になって進めていくと第4次加古川市男女共同参画行動計画に書かれているが、成果指標の「管理職」と「管理監督職」との違いは何か。</p>
事務局	<p>市役所では、管理職は副課長以上、管理監督職は係長以上と定義している。</p>
委員	<p>子育てオフィス整備事業で補助金を受けている株式会社ママスクエアについて、すでに進めている他市での事業の状況はどのようになっているのか。</p>
事務局	<p>兵庫県では加古川市と神戸市で出店を予定している。奈良県葛城市で9月</p>

にオープンしており、コールセンターやテレワーク業務で、約 30 名が働いている。併設のキッズスペースに子どもを預けられ、短時間から働くことができ、反響が大きかったと聞いている。週 3 日勤務で 1 日 4 時間程度働く人が多いとのこと。

加古川市では、現在、募集説明会と面接を実施しており、定員を超える申し込みがあった。保育園の待機児童が多いという問題と、小さい子どもがいても働きたいといったニーズがあり、働き方改革ということで支援したい。

委員 子育てオフィス整備事業の補助金はいくらか。

事務局 平成 28 年度は、整備費の 2 分の 1 補助で、上限額 1 千万円で公募した。問い合わせは数件あったが、応募はママスクエア 1 社のみだった。加古川駅前のヤマトヤシキで開業予定である。

委員 ママスクエアの仕事の確保は同社が独自で行うのか、市が企業に働きかけをするのか。ママスクエアに仕事を発注する企業にも、子どもと一緒に働ける母親にもメリットがあるので、事業を始める以上は充実して欲しい。

事務局 仕事の受注は、ママスクエアが独自で行う。大きな事業所と連携をしていて、仕事は増えていっており、事業も拡大しているとのこと。

委員 若い人が子どもと一緒に働けるといいことだ。

また、高齢者を介護している人の中には、女性が一人で介護を担っていたり、高齢者を受け入れてくれる施設が見つからないなどの理由から、仕事をしたくてもできない人がいる。まずは、男性の家庭参画の促進ということで、男性も若い時から男女共同参画を継続的に学ぶ場が必要だ。少子化が進んでいるので、少子化対策が第一目標かもしれないが、働けない理由は子どもだけではない。高齢者の介護の問題も考えてほしい。

第 4 次加古川市男女共同参画行動計画の成果指標について、保育園の待機児童数が 252 人から 140 人に減っているのは良いことだと思う。ただ、定員に達していなくても交通の便が悪いから預けないというように、親は保育園を選ぶので、全部理想どおりにいくかは難しい。

委員 世界各国の中でも、日本の男性の家事・育児時間は短い。30 代 40 代という一番子育てで大変な時期に、仕事で残業も一番多いのが現状だ。

委員 長時間働きながら育児もするということでは体が持つのか。

委員 きちんと法律化できればいいのだが。こういった懇話会等で意見を出して、問題提起していくことが必要だと思う。

委員 第 4 次加古川市男女共同参画行動計画の基本目標 II にある「性的マイノリティへの理解と人権擁護の啓発」について、今年 1 月に改正されたセクハラ

	<p>指針（事業主が職場における性的言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置についての指針）において、性的指向と性自認の問題を抱える人も対象となる旨が明確化された。単なる LGBT への理解から、LGBT の問題は人権問題であるというかたちになった。</p> <p>学校現場では、いじめにつながる問題であるがどう取り組んだらいいかわからないという意見が多い。男女共同参画センターと教育委員会との連携が必要だ。当事者を講師として呼んで啓発をしてはどうか。</p>
事務局	<p>教育委員会に確認したところ、LGBT の問題で悩んでいる子どもがいると聞いている。人権文化センターを会場とし、外部から講師を呼んで LGBT に理解を深める講演会を実施できるよう調整している。学校現場で情報が必要ということなので、教職員が参加しやすい夏休みの日程で調整したい。</p>
委員	<p>LGBT の人は、10 人から 13 人に 1 人いると言われている。左利きの人と同じ割合だが、私が主催するセミナー等で「LGBT の友人がいる人」と聞いても誰も手を挙げない。しかし左利きの友人がいるという人は 3 分の 2 程度いる。つまり、当事者は自分が LGBT だと発言できていないし、周りも気付いていない。何かメッセージを発していても気付かれていない。</p> <p>箕面市では教職員の中に当事者がいて、一般的な LGBT の話ではなく、実際にどのような授業をしているかといった効果的な研修をしている。</p>
事務局	<p>男女共同参画センターだけでなく、市役所の関係課を含め各団体とも協力して事業を行っていききたい。この懇話会でもご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>第 4 次加古川市男女共同参画行動計画の基本目標Ⅲに、「地域防災活動への男女共同参画の推進」とあるが、自然災害も多く、計画期間終了後の 5 年後に向けて取り組むのでは遅い課題がある。犠牲になるのはお年寄りが多く、市役所の関係課や防火クラブなどと協力して、できるだけ早く取り組むように声掛けをしてほしい。</p>
委員	<p>私は阪神・淡路大震災時に学校に避難してきた人を受け入れた経験がある。早くに家を出られないお年寄りは教室に入れなかった。また、避難所では男性の感覚で支援物資を選んでしまっていた。男性がいらないと判断したものを女性に確認すると、やっぱり必要だと言われたこともあった。避難所は、男女が一緒になって運営すべきである。</p> <p>夜間は家にいる男性も多く動きやすいが、昼間は家にいることが多い女性が動く中心になるので、女性にも防災活動に参加してほしい。天災はいつ起こるかわからない。少しでも早く、防災の場でも男女共同参画を推進しなければならない。</p>
委員	<p>地域の中学生がいじめが原因で転校し、転校先では問題なく過ごせたという事実があった。いじめを見逃さないようにどう取り組んでいるのか。</p>

委員	<p>今はインターネット社会になっており、携帯電話は小学校高学年から使っている。面と向かったけんかだとその場で対応できるが、それがインターネット上で文字として残ってしまうと、子どもにとって深い傷となる。インターネットトラブル防止講座を各学校で行っており、生徒指導も含めて、どの学校でも対策を講じている。</p>
委員	<p>男女共同参画推進のために、安心・安全はひとつのキーワードである。今日の内容を精査して、市役所の関係課や関係機関と協力しながら進めてほしい。</p>
8. 閉会	
事務局	<p>男女共同参画センターが青少年女性センターに移転しても、事業を充実させ、男女共同参画推進のため積極的に取り組んでいきたい。 本日はありがとうございました。</p>